

インタビュー

キャリアならではの セキュア・ユビキタスな クラウド環境の実現を目指す

“あらゆるものをユビキタスにつなぐ環境・サービスの実現”をコンセプトに、ICT/ネットワーク環境を革新して新しいマーケットの創出を目指すNTTコミュニケーションズ。クラウド環境を支えるキャリアならではの基盤技術、ネットワークサービスの強化・シンプル化を実現する「新VPN（仮称）」など、セキュアでユビキタスなクラウド環境を実現するNTTコミュニケーションズの取組みについて、原 隆一取締役役にうかがった。

ビジネスモードに入った クラウドコンピューティング

—NTTコミュニケーションズ様を取り巻く現在の市場環境からお聞かせください。

原 “クラウドコンピューティング”という言葉が登場して3年以上経過し、多くの企業は、これまでの勉強モードからビジネスモードに移行してきたという感じがします。実際、クラウド（=雲）の「上」で様々なサービスが提供されており、クラウドコンピューティングに期待を寄せるお客様は、導入に向けての具体的な検討フェーズに入ったといえます。昨年からはトライアルを開始した私どもの「BizCITY」においても、数多くのお客様が自社業務とのフィッティング等の検証を行っており、こういったことから、クラウドコンピューティング導入に向けた動きがいよいよ本格化してきたと感じています。

しかし、先導を切ってクラウドコンピューティングを導入する企業でも、主体は、例えば自社のサーバ環

境を仮想サーバ環境に移し換えるという、未だ「雲の上」の段階です。これを実際のビジネス環境で利用するために、次は自社の従業員が様々なネットワーク環境で使えるようにするフェーズに入ります。その時に、私どもネットワークキャリアが提供する「BizCITY」の価値が目目されるのではないかと考えています。

クラウドコンピューティングの 課題を雲の中で解決

—ネットワークキャリアが提供する



NTTコミュニケーションズ(株) 取締役
ビジネスネットワークサービス事業部長
原 隆一氏

「BizCITY」の価値とは・・・。

原 今まで、クラウドコンピューティングは、クラウドという雲の「上」で提供されるサービスと一般的に捉えられていました。しかし、これを実際に様々な環境で活用するとすると、システムの信頼性や稼働率、安全性、また、既存システムとの連携、既存のネットワーク環境で利用できるのか、トータルで品質が確保できるのか等々の

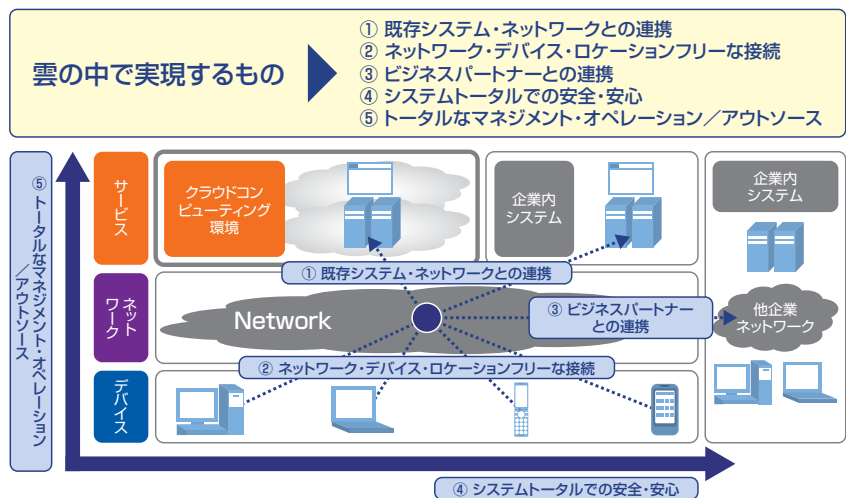


図1 クラウドコンピューティングの課題解決の視点

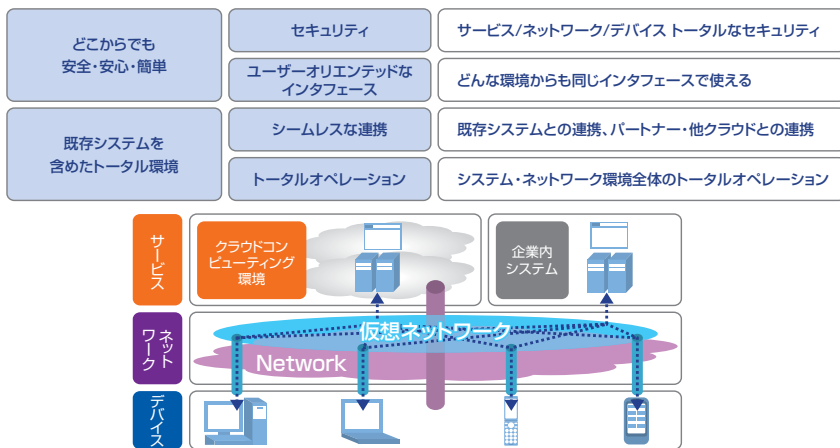


図2 クラウド環境に求められる仮想ネットワーク

課題があります。私どもネットワークキャリアの役割は、これらの課題を解決するため、「雲の中」まで含めた仕組みを提供することにあります(図1参照)。つまり、クラウドという仮想環境と実際の物理ネットワークをセットで捉え、「いつでも・どこでも、誰とでも、安全・安心・簡単に、好きなとき・好きなだけ」つながるセキュアでユビキタスなクラウド環境を提供することです。それを具現化したサービスが「BizCITY」であり、物理ネットワークと一体化して提供することに価値があります。

——クラウドコンピューティングでは、雲の中の物理ネットワークが重要になる。

原 クラウドは常にオンラインであることが前提ですから、全ての通り道となる“雲の中の物理ネットワーク”の品質がシステム全体の品質を左右します。したがって、トラフィックの増大に対応したネットワークの広帯域化、ストレスを感じない低遅延なネットワーク、止まらない高信頼のネットワーク、さらにはネットワークを含め

たシステム全体のセキュリティ強化など、コストを最小限に抑えたいうでクラウドに対応した物理ネットワークを構築することが重要です。私どもは、クラウド環境・高パフォーマンスニーズに対応したネットワークサービスの強化を図ってきましたが、現在、クラウド利用に最適化した革新的なネットワークサービス「新VPN(仮称)」の早期提供に向けた取組みを加速しています。

クラウド環境に求められる仮想ネットワーク

——物理ネットワークと仮想ネットワークの連携によって、セキュアでユビキタスなクラウドコンピューティング環境が実現できる。

原 ネットワークフリー、キャリアフリー、デバイスフリーに、エンドエンドを物理ネットワークに依存せずにつないでいく仮想ネットワークが極めて重要になります。私どもは、“あらゆるものを安心・安全にユビキタスにつなぐ”というビジョンを掲げ、クラウド化に対応したサービス・環境の

実現に向けた仮想ネットワークの拡充・発展に取り組んでいます。クラウドコンピューティングに対応した広帯域・低遅延、高信頼で高セキュリティな物理ネットワークと、無限に広がる仮想ネットワークをセットで提供し、かつエンド-エンドのシームレスなトータルオペレーションを実現します。固定/携帯、国内/グローバルを問わず、様々なネットワーク環境をデバイスを含めトータルにインテグレートし、エンド-エンドでサポートできるというのが私どもの大きな強みです。

ユビキタスなクラウド環境が新しいマーケットの創造を加速

——最後に今後の抱負をお聞かせください。

原 セキュアでユビキタスなクラウド環境の実現は、クラウドコンピューティングだけでなく、新しいマーケットの創造を加速すると考えています。その際、重要となるのが“ネットワークのシンプル化”だと思っています。ネットワークインフラは技術的には、現在、レイヤー1は光の波長多重、レイヤー2はイーサ、レイヤー3はIPという形で収束しています。しかし、私どもは、技術の進化に合わせて長年ネットワークを構築してきたために色々なインタフェースのネットワーク機器が混在し、ネットワーク自体が非常に複雑化しています。これをシンプルな構成にし、より高品質で低価格なサービスを提供していきたいと考えています。

——今日は有り難うございました。

(聞き手・構成：編集長 河西義人)